

2024年3月27日

宇都宮市との「交流連携会議」における提案事業報告会の実施について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、宇都宮市との包括連携協定に基づき設置した「交流連携会議」において、若手・中堅職員で構成した各プロジェクトチームで今年度検討してきた提案事業について報告会を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後も地方公共団体との連携強化をはかり、地域課題の解決を通じて、地域の持続的な成長と地域経済活性化への取り組みを進めてまいります。

※参考

[2022年6月29日ニュースリリース 宇都宮市との「交流連携会議」の設置について](#)

[2023年2月28日ニュースリリース 宇都宮市との「交流連携会議」における提案事業の公表について](#)

記

【報告会の概要】 ※詳細は添付資料をご参照ください。

1. 政策デザインプロジェクトチーム

■ 令和5年度の成果報告
【テーマ（新）：農業の生産力向上】市内企業の農業参入等支援・連携体制の構築
■ 令和4年度提案事業の進捗状況報告
【テーマ：脱炭素化の推進】中小企業等へのSBT認定支援
【テーマ：産業のIT・DXの推進】中小企業等のデジタル化支援事業

2. 未来デザインプロジェクトチーム

■ 令和5年度の活動報告
【テーマ】「若者の活力があり、若者が溢れるまち」を目指す取組
①宇都宮市保育士プチ移住体験事業
②アグリビジネスの創出に向けたマッチング支援

以上

(別紙)

【各プロジェクトチームによる報告会】

各プロジェクトチームより、酒井副市長および清水頭取へ報告を行いました。

日時	2024年3月26日(火) 16:00~16:45
場所	宇都宮市役所本庁舎3階 特別応接室
出席者	宇都宮市 副市長 酒井 典久 株式会社足利銀行 頭取 清水 和幸



〈政策デザインプロジェクトチーム〉



〈未来デザインプロジェクトチーム〉



株式会社足利銀行と宇都宮市との 交流連携会議

令和5年度 報告会

令和6年3月26日

◆ 出席者

足利銀行

取締役頭取

清水 和幸 (しみず かずゆき)

取締役常務執行役員

森川 隆弘 (もりかわ たかひろ)

地域振興部長

黄合 茂 (おうごう しげる)

宇都宮市役所支店長

長島 達也 (ながしま たつや)

宇都宮市

副市長

酒井 典久 (さかい のりひさ)

総合政策部長

篠崎 雄司 (しのざき ゆうじ)

総合政策部次長

神永 正之 (かみなが まさゆき)

政策審議室長

稲葉 寛 (いなば ひろし)

政策審議室主幹

上野 智 (うえの さとし)

(政策調整担当)

農業企画課長

齋藤 潤 (さいとう じゅん)

農林生産流通課長

枝 一輝 (えだ かずてる)

○ 政策デザインプロジェクトチームメンバー

○ 未来デザインプロジェクトチームメンバー

◆政策デザイン プロジェクトチーム

	所属	氏名
足利銀行 (4名)	地域振興部	瀧澤 憲昭
	法人コンサルティング部	加藤 正芳
	法人コンサルティング部	平野 高志
	営業戦略部	高橋 潔孝
宇都宮市 (4名)	農業企画課	小出 雅宏
	農林生産流通課	小林 尚志
	環境政策課	中村 瑠美
	デジタル政策課	望月 寛

◆未来デザイン プロジェクトチーム

	所属	氏名
足利銀行 (5名)	地域振興部	中村 貴宏
	営業戦略部	馬籠 隆太郎
	市場国際部	近藤 祐介
	広報室	阿部 貴美子
	サステナビリティ推進室	高橋 孝治
宇都宮市 (3名)	政策審議室	鈴木 貴久
	政策審議室	飯田 卓史
	政策審議室	齋藤 咲子

◆ 次第

1 開 会

2 議 題

(1) 政策デザインプロジェクトチーム

① 令和5年度の成果報告

【農業の生産力向上】

② 進捗状況報告について（令和4年度提案事業）

【脱炭素化の推進】中小企業等へのS B T認定支援

【産業のI T・D Xの推進】中小企業等のデジタル化支援事業

(2) 未来デザインプロジェクトチーム

・令和5年度の活動報告

3 その他

4 閉 会

政策デザインプロジェクトチーム

① 令和5年度の成果報告

【テーマ：農業の生産力向上】

◇市内企業の農業参入等支援・連携体制の構築

政策デザインプロジェクトチーム

テーマ：農業の生産力向上

(1) ★背景・経緯等，☆想定される効果

★ 農業従事者の減少・高齢化の進行，ICT技術の進展

★ 地域農業を支える担い手や多様な農業人材の確保・育成

☆ 農業参入企業の誘致・育成等の支援を行うことにより，
本市農業全体のレベルアップを図る「農業の成長産業化」

☆ 遊休農地の未然防止，スマート農業等の普及，食料の安定供給

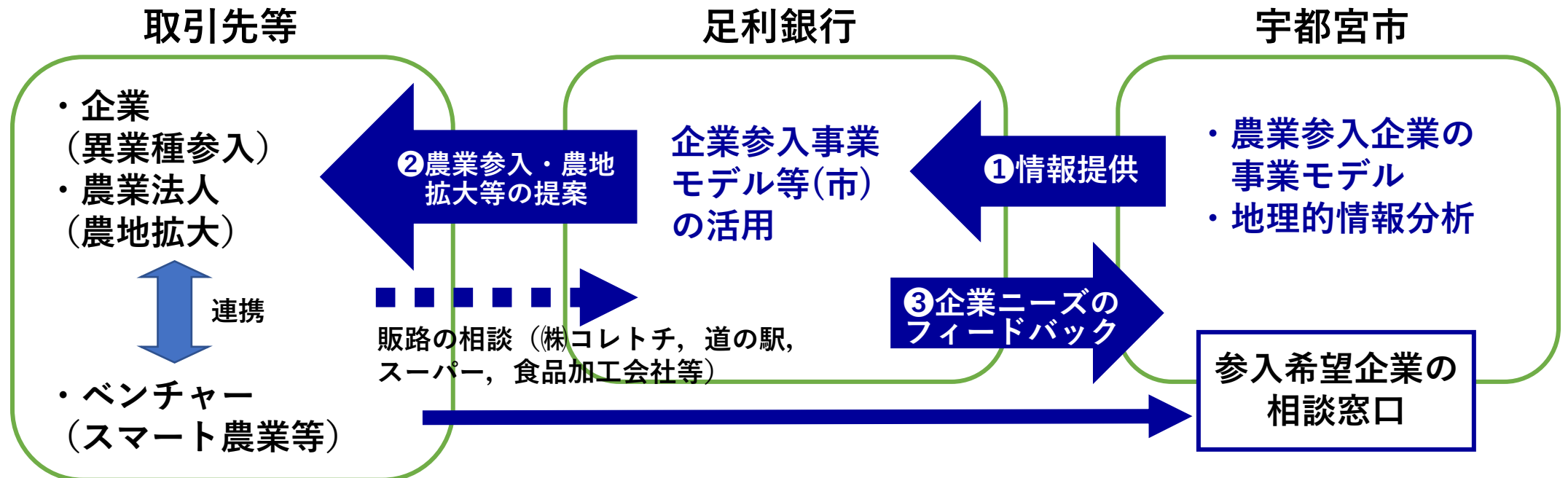
(2) 提案事業

・市内への農業参入を希望する企業等の誘致・支援促進体制
(スキーム)の検討，構築

テーマ：農業の生産力向上

3) 事業スキーム

- ・ **宇都宮市**：農業参入企業の事業モデル等の作成
宮農に係る気象・土壌等の分析・データ化
- ・ **足利銀行**：取引企業等への農業参入・農地拡大・農地活用の提案
販路紹介



② 進捗状況報告について

【テーマ：脱炭素の推進】

◇ 中小企業等への S B T 認定支援

1 中小企業等へのS B T認定^(※)支援

(1) ★背景・経緯等，☆想定される効果

- ★ 企業の脱炭素経営への第一歩の後押しが目的
- ★ 先導的な取組を支援し，広く刺激を与える事業を検討
- ☆ 温室効果ガスの排出量算定や削減目標設定の広がりを経て，CO2削減へ向けた具体的な取組の加速を期待

(2) 令和5年度取組

中小企業等を対象に，温室効果ガス排出量の算定，削減目標の設定及び削減計画の策定，中小企業向けS B T認定取得に係る申請に要する費用への補助を創設

※SBT (Science Based Targets) 認定とは

- ・ S B Tとは，パリ協定（世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち，1.5℃内に抑える努力をする）が求める水準と整合した，5年～15年先を目標として企業が設定する，温室効果ガス排出削減目標のこと
- ・ 認定は，国際的な認証機関である，「SBTi」が行う。※「SBTi」は，世界自然保護基金(WWF)，国際的な環境非営利組織(CDP)，世界資源研究所(WRI)，国連グローバル・コンパクトの4者により運営されています。

2 令和5年度の取組

・宇都宮市：S B T 認定へ向けた事業(補助金)の創設

項目	内容
目的	・本市の中小企業等の脱炭素化を促進するため、本市における脱炭素経営のトップランナーを生み出し、市内全体の事業者に対する波及効果を生むもの
対象者	・市内に事業所を有する中小企業等（中小企業基本法による資本金・従業員数の要件を満たす者で、事業活動全体に係る従業員が500人未満の企業等）
対象経費	①温室効果ガス排出量の算定や削減目標の設定、削減計画の策定のための委託料等 ②中小企業向けS B T 認定取得に係る申請費用
補助率等	対象経費の2分の1、上限額100万円（S B T 認定申請後に交付）
要件	・中小企業向けS B T の認定基準に相当する中長期の温室効果ガス削減目標の設定、削減目標達成に向けた中長期的な方向性及び削減計画の策定 ・中小企業向けS B T 認定を取得すること 等

・足利銀行：市内企業への上記事業の周知， S B T 認定支援

3 進捗状況について

- 宇都宮市は、中小企業向け温室効果ガス排出量削減（S B T）認定の取得を支援する補助制度を創設し、7月から募集を開始（8月末まで）
- 建設業や専門・技術サービス業、卸・小売業など様々な分野の14社から応募があった。（9社交付済・3/15時点）

【主な応募理由】

- ステークホルダーや顧客からの脱炭素に向けた要望に応える
- S D G s や地域課題・社会課題解決への貢献
- 環境配慮企業としてのP R 等

【主な取組内容】

- L E D照明、太陽光発電設備、電気自動車等の導入
- 福利厚生制度の検討
（低燃費車に買い替える場合の補助制度等）
- 他社への周知啓発
- 継続的なC O 2排出量の把握と削減手段の検討 等

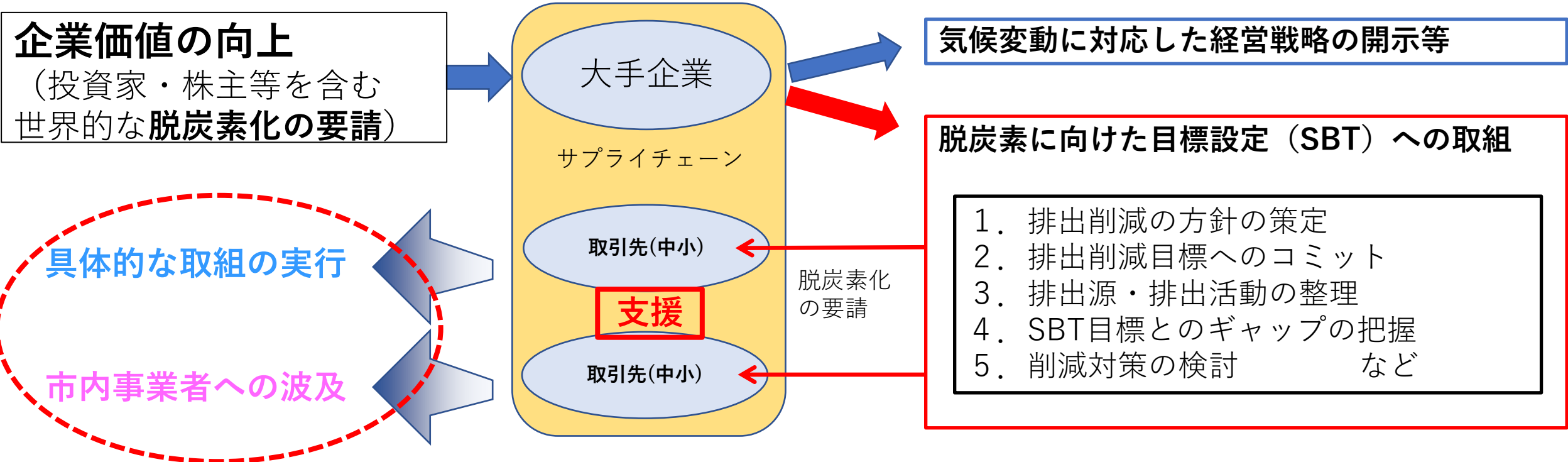
- 足利銀行は、温室効果ガス排出量が多い企業や環境意識の高い企業を中心に、S B T認定の取得と市が創設した補助制度の利用を積極的に提案し、14社の応募を支援した。

4 今後の対応（令和6年度の取組）

- 宇都宮市：
 - **引き続き、S B T 認定に向けた計画策定等に係る支援を実施**
→当初予算案：上限1,000千円×15件＝15,000千円
 - **E V，B E M S の購入費助成や、生産設備導入費の助成など脱炭素化に向けた取組の実行を支援**
→S B T 認定などを要件として給電性能を備えたE V，B E M S の導入費用を助成
→S B T 認定企業に対する中小企業高度化設備設置補助金の補助率の上乗せ
 - **削減計画の実施状況等を確認し、市内事業者への波及に向けた事例の紹介などに取り組む**
- 足利銀行：市内企業への上記事業の周知，S B T 認定支援

【参考】 中小企業等への S B T 認定支援

○ 事業スキーム



※SBT (Science Based Targets) : パリ協定が求める水準と整合した, 5年~15年先を目標として企業が設定する, 温室効果ガス排出削減目標

② 進捗状況報告について

【テーマ：産業のIT・DXの推進】

- ◇ 金融機関とデジタル専門家の連携による
中小企業等のデジタル化支援事業

1 金融機関とデジタル専門家の連携による 中小企業等のデジタル化支援事業

(1) ★背景・経緯等， ☆想定される効果

- ★ 宇都宮市は全国と比較し， デジタル化の初期段階の割合が多い
- ★ デジタル化に取り組む中小企業の約 8 割は効果を実感
- ☆ デジタル技術活用で， 競争力強化・成長・効率化を期待

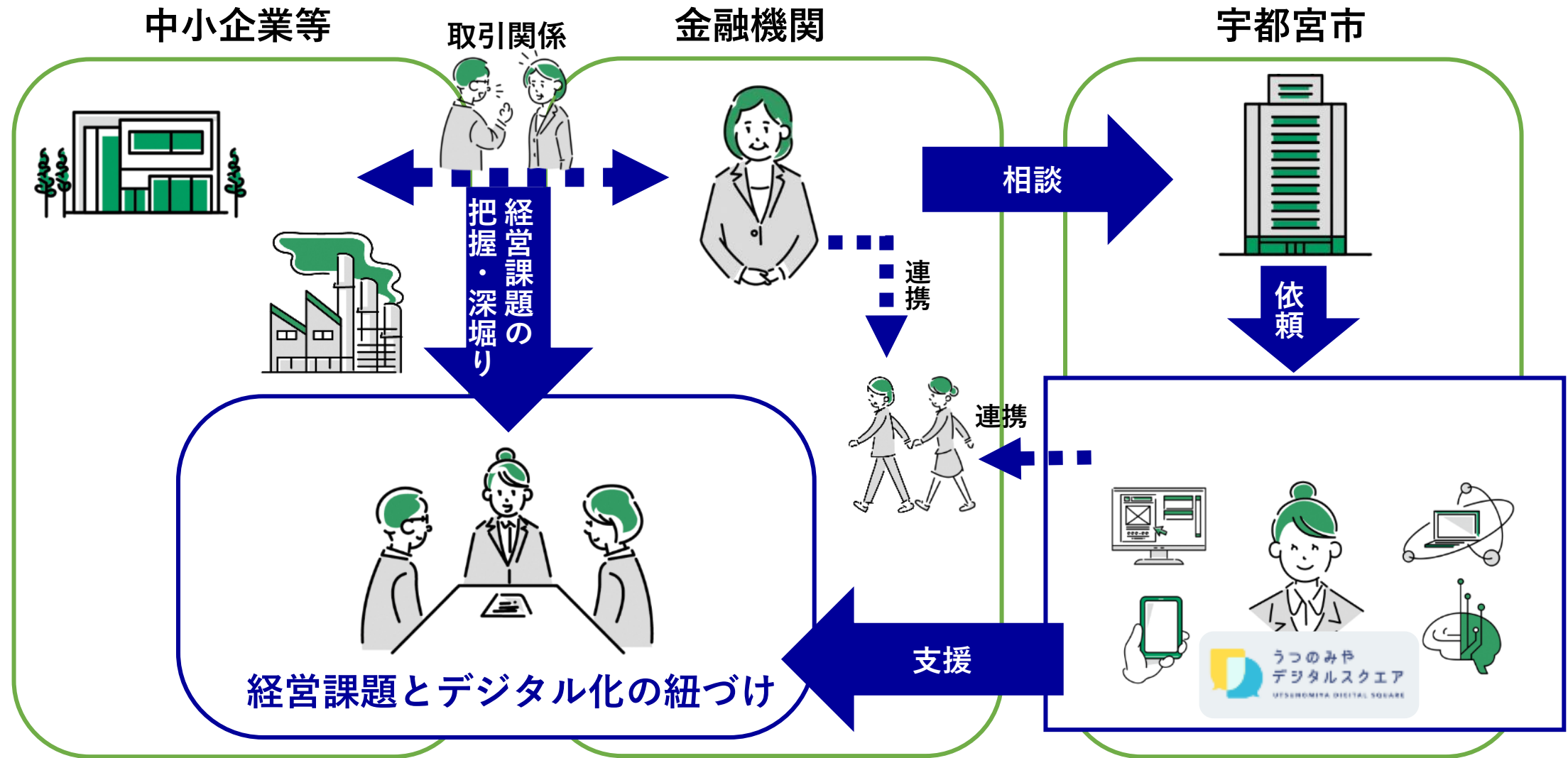
(2) 令和 5 年度の取組

中小企業の経営課題を把握している金融機関と「うつのみやデジタルスクエア（※）」のデジタル専門家が連携して， 相談やコンサルティングの機会を提供し， デジタル化を支援する事業を拡大

※地域活動団体などが， それぞれのニーズにあったデジタル技術を活用していくことを応援する事業（現在， 対象を中小企業等の事業者に拡大するため， Webサイトを改修中）

【参考】金融機関とデジタル専門家の連携による 中小企業等のデジタル化支援事業

○ 事業スキーム



2 令和5年度の取組

- ・ 宇都宮市： 4月 烏山信用金庫・栃木信用金庫への協力依頼
5月 よろず支援拠点及び民間事業者との意見交換・情報収集
6月～ 事業スキーム等の精査
 - ・ 烏山信用金庫宇都宮支店営業担当者ヒアリング（6月）
 - ・ 足利銀行との意見交換（7月）
9月～ 烏山信用金庫・栃木信用金庫への事業実施内容の説明
10月～ 派遣支援の実施（11回）
- ・ 足利銀行： 4月～ 烏山信用金庫(本部・宇都宮支店)と栃木信用金庫（本部・宇都宮営業部）へ，宇都宮市を紹介
宇都宮市と事業スキーム等について意見交換
11月～ 鹿沼相互信用金庫へ，宇都宮市を紹介

3 進捗状況について

- 宇都宮市は、足利銀行とともに、本年4月から烏山信用金庫及び栃木信用金庫に対して、事業説明及び協力依頼を行った。
また、よろず支援拠点などとの意見交換を経て、他の支援策の活用促進につながる機能を組み込むなど、制度を具体化し、本事業を10月から開始した。（これまで11回の派遣支援を実施）

R5.11月時点：3回（2社）→R6.3月時点：11回（5社）

- 足利銀行は、本年4月から宇都宮市と烏山信用金庫、栃木信用金庫、鹿沼相互信用金庫との橋渡し役を担うとともに、事業説明及び協力依頼を行った。

R5.11月時点：2金融機関→R6.3月時点：3金融機関

【参考】これまでの派遣実績

No.	派遣先	中小企業からの具体的な相談内容	デジタル専門家からの具体的な支援内容	派遣支援後の具体的な動向
1	卸売業（精肉） 派遣数：計2回	<ul style="list-style-type: none"> ECサイトを開設する場合の大まかな費用感や構築期間について 	<ul style="list-style-type: none"> 複数のネットショップ作成サービスの比較・説明 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ まずは人材の確保するべく、『栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点』などの活用を検討
		<ul style="list-style-type: none"> ネットショップ作成サービスを利用した場合や具体的な構築費用・運用について 	<ul style="list-style-type: none"> ネットショップ作成サービスの利用に係る概算費用、構築期間について説明 	
2	訪問看護業 派遣数：計2回	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護スタッフのスケジュール管理、利用者との連絡ツールについて 	<ul style="list-style-type: none"> SNSの活用提案 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SNSを実際に導入し、社員同士などの連絡ツールとして活用
		<ul style="list-style-type: none"> SNSの導入や具体的な使用方法について 	<ul style="list-style-type: none"> 導入手順の説明及びデモンストレーション 	
3	飲食業 派遣数：計1回	<ul style="list-style-type: none"> 電話機と顧客情報を紐づけて管理できるサービスや具体的なコストについて 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客管理のスキーム確認 システム構築に係る概算費用の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中小機構における『IT経営サポートセンター』を活用し、今後のシステム等導入に向け、顧客管理のスキームの見直しなどを行う予定

【参考】これまでの派遣実績

No.	派遣先	中小企業からの具体的な相談内容	デジタル専門家からの具体的な支援内容	派遣支援後の具体的な動向
4	小売業 派遣数：4回	<ul style="list-style-type: none"> 注文受付や管理のデジタル化について SNS等の活用について 	<ul style="list-style-type: none"> 受付から配送までの事業スキームのヒアリング システム等の導入に向けた具体的な手順や考え方に関する説明 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 注文受付のスキームや管理方法の見直しを行う
		<ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用した注文受付について SNSの活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ SNSの活用提案 ➤ 複数のSNSの違いを説明 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SNSを導入 ✓ 『アンケート機能』を実際の注文受付の機能として活用
		<ul style="list-style-type: none"> SNSの具体的な導入手順や使い方について 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 導入手順の説明及びデモンストレーション 	
		<ul style="list-style-type: none"> SNS上でのアンケートフォームの作成方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アンケートフォーム作成の手順の説明及びデモンストレーション 	
5	電気工事業 派遣数：2回	<ul style="list-style-type: none"> SNSの具体的な導入手順や使い方について 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 導入手順の説明及びデモンストレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SNS等の導入を検討
		<ul style="list-style-type: none"> SNS上でのアンケートフォームの作成方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アンケートフォーム作成の手順の説明及びデモンストレーション 	

派遣支援回数：合計 11回（5社）

未来デザインプロジェクトチーム

令和5年度の活動報告

- ◎ 本年度の取組
令和4年度に導出したアイデアの具体化を目指し、
関係機関等へアンケートやヒアリングを行うとともに、事業スキームを整理

令和4年度に導出したアイディア

テーマ：「若者の活力があり、若者が溢れるまち」を目指す取組

1. 学生と地元企業の「つながり生まれる」プロジェクト
2. しごと×生活体験
3. 保育実習・インターン支援事業
4. シェア＝エコペリエンス（モノ・経験の共有）
5. メタ宇都宮シティ（情報・体験の共有）
6. ニュー・アグリ・バレー（知の共有）

**2つのアイデアの
具体化を目指す**

1. 保育士の確保について

① 着眼点・発想

- 75年ぶりの保育士配置基準の改善（必要保育士数の増）
- 保育士の不足（有効求人倍率6.12 栃木県ワースト2位）
- 保育士は、実習先にそのまま就職する傾向
- 人口移動について、東京圏への転出超過の状態

② 調査・分析

既往調査の分析，アンケート，埼玉県の大学にヒアリング実施

- 移住と仕事はセットで検討が必要
- 実習は1～3回，遠方の場合，交通費や滞在費用の支援が必要
- 保育内容に共感し，適切な支援（交通費や滞在費）があれば，地方での実習や就職は選択肢となる可能性あり

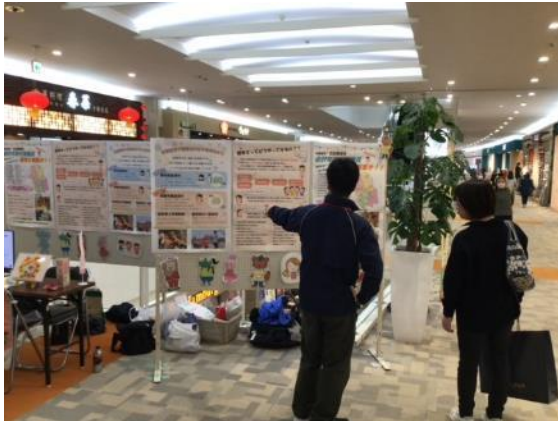
2. 事業概要

③ 事業名

「宇都宮市保育士プチ移住体験事業」

⇒ 東京圏の、保育士として働きたい方を対象に、
**現職の保育士との交流や本市の魅力に触れる機会を提供するとともに、
市内の保育園等での就業体験を促すことにより、
本市で保育士として活躍いただくもの**

④ 事業イメージ



本市に訪れ、保育士と交流



市内の保育園等で実習・一日体験



本市で保育士として活躍

2. 事業概要

⑤ 事業スキーム

本市で保育士として働くことを具体的にイメージできるよう、段階的にアプローチしていく。

対象

1年生

2年生

3年生

4年生

若手保育士
20代女性

東京圏在住者

養成校在学学生

訴求内容

狙い：まずは宇都宮市を知ってもらう

就業意欲向上，本市の認知・
移住先の検討熟度向上
⇒お友達と又は個人で参加
(日帰り・1泊2日)

■保育士としてのキャリア形成

- ・現職保育士との座談会等への参加
- ・就職した際の支援制度の案内

■本市を知ってもらう機会

- ・本市ならではのイベントへの参加
- ・ビジャースポットの入場券等のプレゼント
- ・移住する際の支援制度の案内

狙い：就職（転職）先として具体的に検討してもらう

就職（転職）・移住先の検討熟度向上
⇒市内の施設での保育就業体験に円滑に参加
(1day～就業体験に伴う期間)

■保育士としての就職（転職）先・移住先の検討

- ・養成校を通じた就業体験受入施設の周知，受入れ施設の支援
- ・1dayお仕事体験等への参加
- ・就職・移住した際の支援制度の案内
(就職準備金，移住支援金，家賃補助制度など)

1. アグリビジネスの創出

① 着眼点・発想

農業分野における新たなビジネスの創出に向けては、

- 本市は製造業が盛んで、食品系企業が多い。
(製造品出荷額中核市5位, 市内事業所数は食品系企業が最多)
- 農家も多く、「農業王国うつのみや」として存在感を発揮
(認定農業者数中核市5位)
- 環境問題・SDGsへの関心の高まり
(ゼロカーボンシティの表明, 脱炭素先行地域への選定)
- 宇都宮大学農学部など大学数が多く、様々な“知”を有する

⇒ **1次産業×2・3次産業のマッチングを促進**

農産物を活用した新たな商品開発等により、地域経済を活性化

2. 事業者同士の交流・マッチングの現状

【宇都宮市】

▼生産者



アグリネットワーク
会員数：約400



▼交流・マッチング



異業種交流会
参加者数：約100名
マッチング事業
相談件数：年間15～50件

▼事業化



アグリビジネス創出支援事業
⇒最大100万円の補助
(市場調査, 備品購入, 販路開拓等)

【足利銀行】

▼加工・小売業



顧客・技術提案書
2023年：185件



▼交流・マッチング

めぶき食の商談会
2024年出展企業：131社

▼事業化



めぶきビジネスアワード
⇒最大300万円の賞金
(賞金に加え, コンサル支援
等)

各主体でそれぞれ
顧客情報があり,
交流・マッチング
に取り組んでいる。

※共有できないか？

3. 事業概要

【宇都宮市】

▼生産者



アグリネットワーク
会員数：約400

▼交流・マッチング



異業種交流会
参加者数：約100名
マッチング事業
相談件数：年間15～50件

【足利銀行】

▼加工・小売業



顧客・技術提案書
2023年：18

▼交流・マッチング

めぶき食の商談会
2024年出展企業：13

共有・公開する情報例	
業種	農業者（いちご）
場所	宇都宮市 瑞穂野地区
要望	B級品いちごを使った製品開発
その他	減農薬にて生産 販路の新規開拓希望（百貨店等）
業種	食品製造会社（和菓子製造）
場所	宇都宮市 平石地区
要望	野菜を使った和菓子の製造
その他	菓子製造・飲食店営業許可有 瓶詰加工所有，市産夏野菜希望

交流・マッチングを希望する
顧客情報を一元化し、
共有・公表できる環境を整備



顧客への働きかけを強化するとともに、
事業者同士がつながれる環境を創出し、
新規事業の創出や6次産業化を促進

4. 事業イメージ

① 多様な主体が参画して蓄積されるデータ



② 顧客情報を一覧化（フィルター・検索機能、グラフ化）

業種	法人・代表	住所	連絡先	紹介	要望	その他
農業者	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××	主にいちごの生産...	B級品のいちごを...	無農薬...
食品製造	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××			
機器製造	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××			
販売業	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××			
飲食業	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××			

③ 対応状況の即時共有

レコード詳細			
業種	法人・代表	住所	連絡先
農業者	〇〇〇〇	宇都宮市××	××-××
紹介		要望	その他
主にいちごの生産...		B級品のいちごを...	無農薬...
相談記録			
相談日	内容	対応者	状況
R6.3.〇	〇〇について相談あり	市〇〇	対応中

④ 公表データを活用した更なるイノベーションの創出

▼主にいちごの生産を...
▼B級品のいちごを...
▼無農薬...

市内のリソースを見える化し、事業者はもとより、起業家や大学などの多様な主体が連携先を探せる「イノベーションが芽吹く畑」になるのではな